

三重の健康づくり基本計画の最終評価について

1 計画の位置づけ

現行の「三重の健康づくり基本計画(ヘルシーピープルみえ・21)」は、平成25年(2013)3月に「三重県健康づくり推進条例」に基づく、健康づくりに関する基本計画として策定しました。

少子高齢化の進展などに伴う社会環境や疾病構造の変化の中で、子どもから高齢者まで、全ての県民が健やかで心豊かに生活できるよう、県民の健康増進の総合的な推進を図るための取り組むべき課題や方向性を示すものであり、健康増進法に基づく都道府県の健康増進計画として位置づけられています。

2 全体目標の評価

(1) 健康寿命の延伸

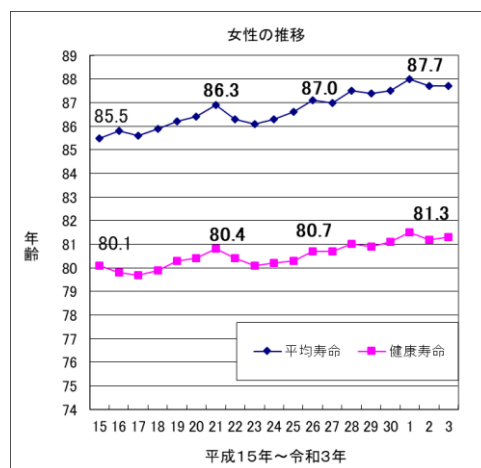
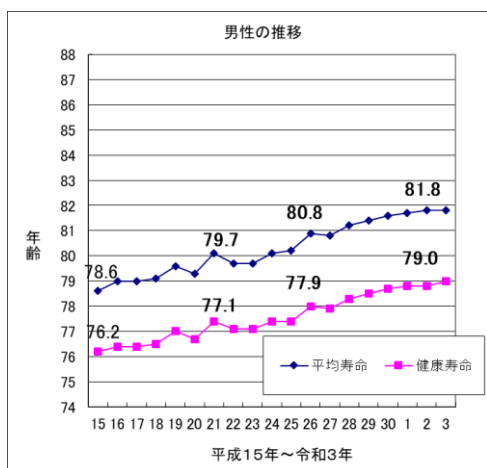
本県における健康寿命は、平成22(2010)年と令和3(2021)年を比較すると、健康寿命は、男性では1.9歳、女性では0.9歳伸びているのに対し、平均寿命は、男性では2.1歳、女性では1.4歳伸びています。

また、平成29年度(2017年度)に実施した中間評価時の数値と比較すると、健康寿命は、男性では1.1歳、女性では0.6歳伸びているのに対し、平均寿命は、男性では1.0歳、女性では0.7歳伸びています。

策定時と比較すると男女ともに健康寿命の延伸がみられたものの、平均寿命の伸びを上回ることはできませんでしたが、健康寿命、平均寿命ともに中間評価時、最終評価時と延伸傾向であり、状況は悪化していないことから、最終評価は「C変わらない」としています。

分野	No	評価指標	条件	策定時		H29年度		中間評価	R5年度(最終評価)			三重の健康づくり基本計画目標値		
				数値	調査年	数値	調査年		数値	調査年	中間評価時からの変化		最終評価	
全体目標	1	健康寿命	男性	77.1歳	H22	77.9歳	27	C	79.0歳	R3	1.1	+	C	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
				平均寿命 79.7		平均寿命 80.8			平均寿命 81.8					
			女性	80.4歳		80.7歳			81.3歳					
				平均寿命 86.3		平均寿命 87.0			平均寿命 87.7					

○三重県における健康寿命の推移



※平均寿命は「みえ DataBox 月別人口調査結果」に基づき算定。
 ※健康寿命は三重県「三重県の健康寿命」による。

(2) 健康であると感じている人の割合

健康であると感じている人の割合は、中間評価時よりは増加しているものの、計画策定時の74.4% (H23) からは、73.7% (R4) に0.7ポイント減少しました。しかし、統計的な有意性はなく、平成11(1999)年から横ばい傾向であることから、最終評価は「C変わらない」としています。

分野	No	評価指標	条件	策定時		H29年度			R5年度(最終評価)				三重の健康づくり基本計画目標値
				数値	調査年	数値	調査年	中間評価	数値	調査年	中間評価時からの変化	最終評価	
全体目標	2	健康であると感じている人の割合		74.4 %	H23	73.3 %	28	C	73.7 %	R4	0.4 +	C	増加

3 全項目の評価指標

策定時の値と直近値の比較	項目数 (再掲の項目を除く)	割合
A 達成している	21	23.3 %
B 改善している	26	28.9 %
C 変わらない	10	11.1 %
D 悪化している	16	17.8 %
E 評価困難	17	18.9 %
計	90	

- ・全項目の進捗状況としては、「A達成している」、「B改善している」の評価になった項目が47項目(52.2%)となりました。また、10項目(11.1%)が「C変わらない」となり、「D悪化している」は16項目(17.8%)となりました。
- ・なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、策定時や中間評価時と調査方法が異なる項目や、数値ができなかった項目は17項目(18.9%)ありますが、いずれも「E評価困難」としました。
- ・各分野の評価指標については、取組の成果により多くの達成・改善が見られ、「糖尿病」分野においては、「糖尿病性腎症による新規透析導入数」や40～49歳、50～59歳の男性や60～69歳の女性の「糖尿病が強く疑われる人(HbA1c(NGSP値)6.5%以上)の割合」が「A達成している」になりました。
- ・栄養・食生活分野においては、「肥満(BMI25.0以上)、やせ(BMI18.5未満)の人の割合」の肥満傾向にある子ども(6～11歳、12～14歳)や小学6年生、中学3年生の「1日3食食べている人の割合(朝食を毎日食べる人の割合)」が「D悪化している」となりました。また、最終評価の数値が参考値であるものの、「1日あたりの平均脂肪エネルギー比率」や「成人1日あたりの食塩摂取量」が増加傾向になっています。
- ・「身体活動・運動」分野においては、「運動習慣者の割合」の数値が改善し、男女ともに「A達成している」の評価になりました。また、参考値ではあるものの、「成人の日常生活における歩数」は減少傾向になっています。
- ・「社会環境づくり」の分野においては、「健康について気をつけている人の割合」や「ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業の割合」が「A達成している」の評価となりました。